

山小屋で一泊、庚申山→鋸山→皇海山





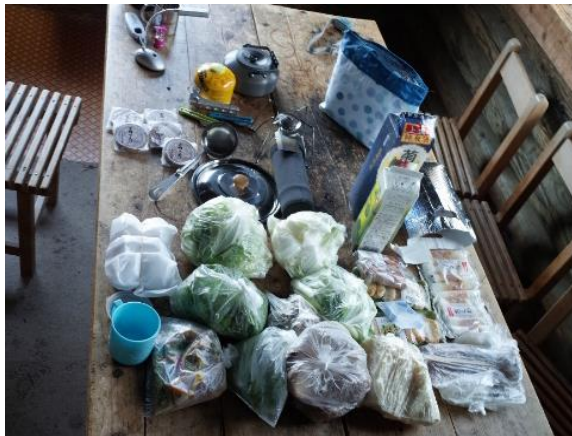
『夫婦蛙岩』重なってる上が雄や、下が雌やとワイワイガヤガヤ



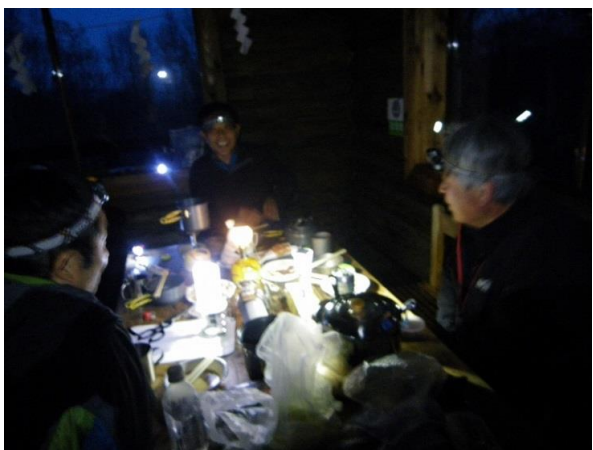
電気もない、ガスもない、今日の宿泊『庚申山荘』全館全室貸切り



運びに運んだ鍋の具材(白菜、ネギ、椎茸、えのき、鳥肉、ひき肉、水菜、ミツバ他)



庚申山荘鍋パーティ、夜になって灯はランタンとヘッドランプ



シカのクワア〜んクワア〜んの鳴き声を聞きながら熟睡



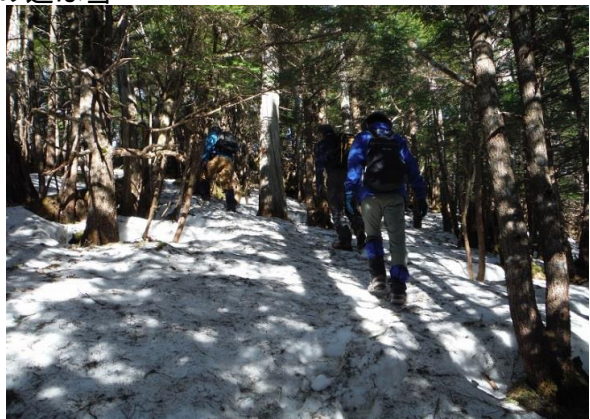
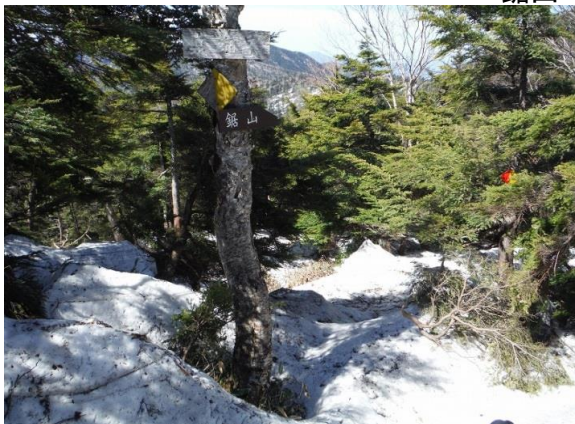
庚申山荘からイザ出陣



断崖、岩場のハシゴ、ロープ、鎖



鋸山への道は雪





見晴らしから左が鋸山、右が皇海山



降りる時は後ろ向き、気持ちは前向き



ほぼ直角のはしご、ぐるっと回り足を置き、下を見ずに降りる

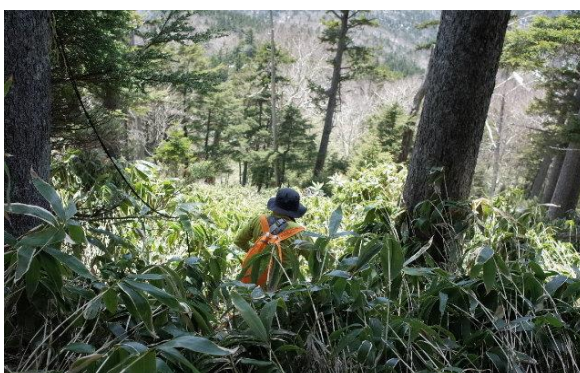




鋸山頂上、ここで皇海山の登頂は無念の断念(断念です!!)



ここまで道なき道の人生を歩み、ここからも藪笹の道なき道を歩む

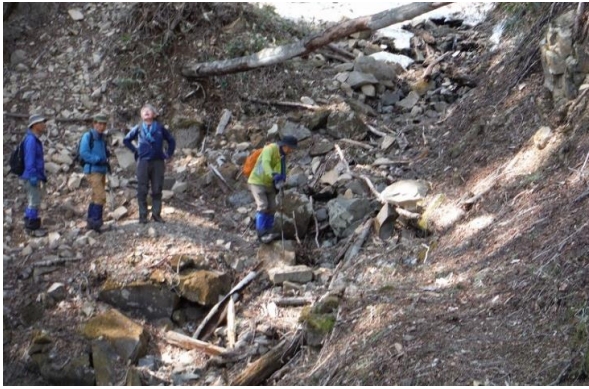


谷沿いに出れば残雪、ゴボツゴボツとはまりながら

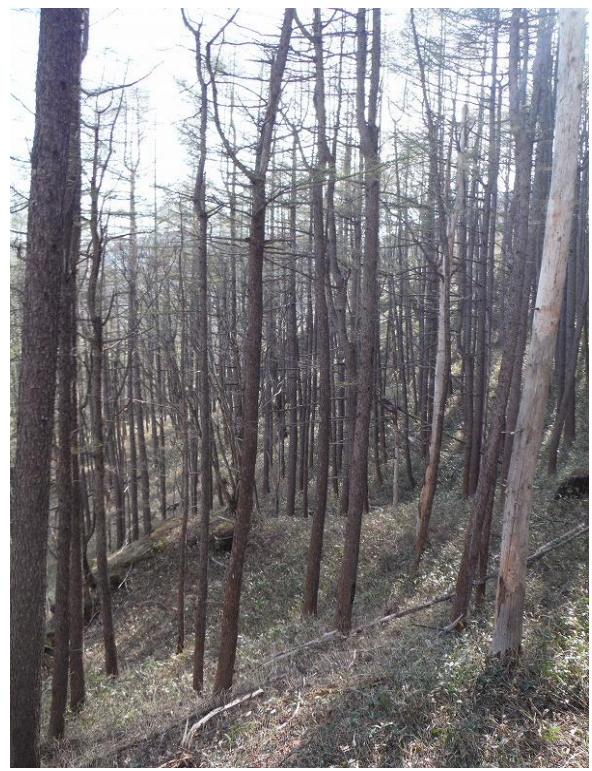




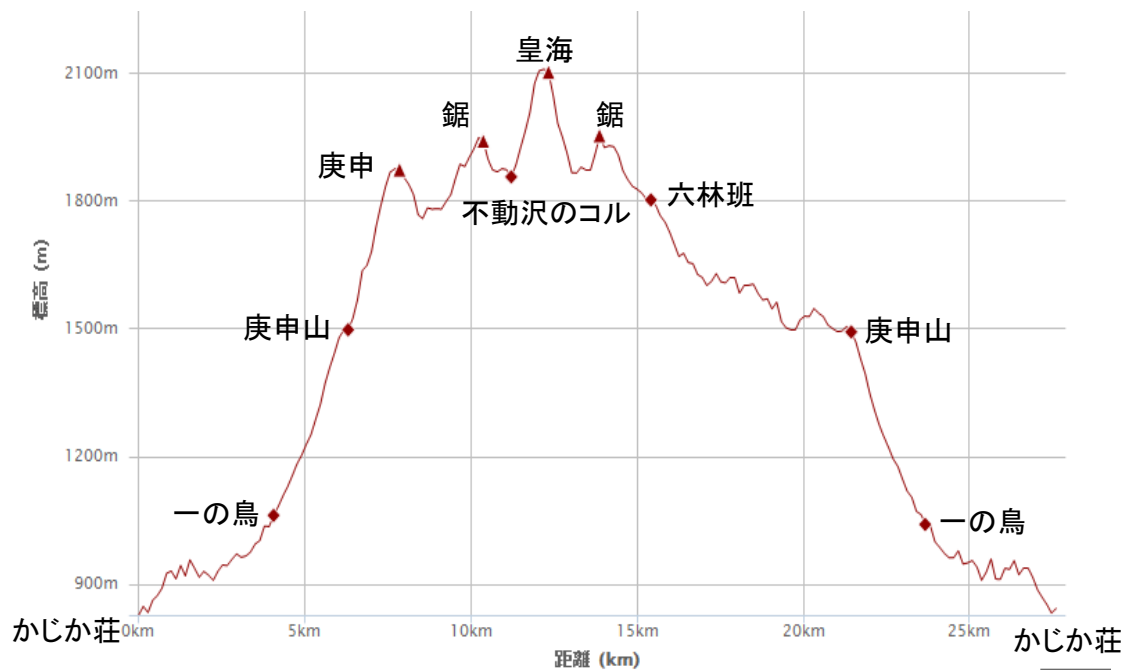
## 悪戦苦闘の連続



このマークを頼りに木々の間を通り抜ける



この高低表と距離見てあらためてびっくり



皇海山へは断念したが、今まで最も過酷な山歩きでした